



# 富岡製糸場総合研究センターだより

No. 30

(2023年8月発行)

富岡製糸場をもっと楽しむための豆知識をお届けします！

## 盆踊りと富岡製糸場

盆踊りとは、盆の時期に先祖を供養する行事内で行われる踊りのことです。しかし、富岡製糸場では大切なお客様がいらした際に披露することもある、工女の健康維持のために踊ることもありました。

創業間もない富岡製糸場で働いていた長野県出身の工女 <sup>よこた</sup> <sup>えい</sup> 横田 英の回顧録『富岡日記』には、このような思い出が綴られています。

とある宴会の折、取締役が長野県出身の工女に「お前さんのお国には盆踊りが有るとのことだが、知っておいでならおどって下さい」と話しました。はじめは皆引っ込んでいましたが、数人が踊り始めると徐々に人数は増えていき、これを見た尾高惇忠（初代工場長）や役人たちはたいそう喜んだようです。それから富岡製糸場に大切なお客様が来るたびに、取締役から盆踊りをせがまれるようになりました。

また工女たちの健康維持のため、夏場の業務終了後には広庭で遊ぶことが推奨されました。このときも例の盆踊りを、他県の人まで加わって盛んに踊っていたようです。やがてこれと競うように、山口県出身の工女たちは彼女達のお国の踊りを始めたという思い出も記されています。

このように、盆踊りにまつわる回想からも工女たちの微笑ましい私生活を読み取れます。

◆ 発行 ◆

富岡市世界遺産観光部 富岡製糸場総合研究センター

バックナンバー  
はこちらから▼

